

皮膚科

プログラム名： 川崎医科大学皮膚科研修プログラム

定員： 各年次 4 名 合計 20 名

プログラム年数： 5 年

総医 C プログラム担当者： 皮膚科(皮膚科学) 山本 剛伸

総医 C 問合せ先： E-mail: go-yama@med.kawasaki-m.ac.jp (山本)

研修スケジュール：

専攻医	1 年目	2 年目	3 年目	4 年目	5 年目	
A	基幹病院		総合医療 C		基幹病院	研修基幹施設を中心に研修する基本的コース。最終年次に大学で後輩の指導を行うことにより、自らの不足している部分を発見し補う。連携施設は原則として 1 年毎で異動するが、諸事情により 2 年間同一施設もあり得る。
B	総合医療 C		基幹病院			研修連携施設から研修を開始するコース。
C	基幹病院	総医 C	大学院			研修後半に、博士号取得のための研究を開始するプログラム。博士号取得の基本的コース。
D	基幹病院	総医 C	選択		基幹病院	研修基幹施設で研修を開始・終了するコース。3~4 年目の選択期間では、連携施設、準連携施設または研修基幹施設の研修を選択する。

基幹施設と連携施設：

基幹施設	川崎医科大学附属病院
連携施設	川崎医科大学総合医療センター、川崎医科大学附属病院形成外科・美容外科、麻酔・集中治療科、リウマチ・膠原病科、総合診療科、国立がん研究センター中央病院、静岡がんセンター、大阪国際がんセンター、帝京大学医学部附属病院、広島大学病院、東京女子医科大学附属足立医療センター、大阪はびきの医療センター、水島中央病院、金光病院、倉敷記念病院、沖縄県立八重山病院

プログラム統括責任者： 川崎医科大学附属病院皮膚科 青山 裕美

プログラム基本情報：本プログラムは川崎医科大学附属病院皮膚科を研修基幹施設として、川崎医科大学総合医療センター皮膚科などを研修連携施設とした研修施設群を統括する研修プログラムである。川崎医科大学附属病院皮膚科を最低 1 年、川崎医科大学総合医療センター皮膚科を最低 1 年含み、計 5 年間の研修を行う。

研修目標・到達目標：皮膚科一般の基本的知識技術を習得し、難治性疾患、稀な疾患などより専門性の高い疾患の診断・治療の研修を行う。また皮膚悪性腫瘍に対する手術療法、化学療法、終末期医療を習得する。さらに、教育・研究などの総合力を培う。

取得可能な専門医：皮膚科専門医